

目 次

第 1 章 研究の背景

1.1 国土交通基盤の業務継続	1
1.2 港湾・空港分野におけるリスクマネジメントの変遷	3
1.3 課題の整理	5
1.4 研究の体系	6
1.5 研究の体制	8

第 2 章 リスク分析の高度化による事態想定の変遷

2.1 従来の分析手法の課題	9
2.2 新しい分析手法による検討	9
2.3 まとめ	12

第 3 章 港湾における耐震強化の評価

3.1 耐震強化の効果の検討	15
3.2 「湾内 2 港被災」の検討	20
3.3 まとめ	23

第 4 章 空港における共通認識としての経済損失

4.1 共通認識の形成の必要性	25
4.2 ケーススタディーにおける直接損失の試算（計測）と分析	31
4.3 ケーススタディーにおける波及影響（損失）の試算（計測）の分析	57
4.4 まとめ	67

第 5 章 空港における参加環境の形成の必要

第 6 章 代替空港による代替輸送の実現性の検討

6.1 代替空港等による代替輸送の算定モデルの検討	73
6.2 ケーススタディーにおける被災時の代替輸送の検討	77
6.3 まとめ	87

第 7 章 代替空港からの代替輸送に係る業務継続の検討

7.1 代替輸送を伴う危機事象等の検討	89
7.2 代替輸送に係る業務継続計画（主要部分）の雛型の検討	99
7.3 まとめ	111

第8章 まとめと今後の課題

8.1	まとめ	121
8.2	今後の課題	125